

令和7年度 第1回 酒田市中学校部活動改革推進協議会 議事概要

1 日時

2025年6月2日（月）14時30分～16時45分

2 場所

酒田市役所3階第1・2委員会室

3 出席者

団 体 名	氏 名
酒田市スポーツ協会	齋 藤 隆
酒田市スポーツ振興会	杉 山 道 弘
酒田市スポーツ少年団本部	齋 藤 勉
酒田市芸術文化協会	村 上 幸太郎
希望ヶ丘体育文化振興会	樋 浦 紗 季
きらり川南スポーツクラブ	加 藤 雅 広
ひらた目ん玉スポーツクラブ	丸 山 清
酒田市中学校長会	佐 藤 英 喜
飽海地区中学校体育連盟	小 林 千 里
飽海地区中学校文化連盟	中 村 恵 子
一中保護者代表	小 野 弘 志
二中保護者代表	加 藤 夕 佳
三中保護者代表	齋 藤 佳代子
四中保護者代表	天 野 岳 人
六中保護者代表	齋 藤 将 人
鳥海八幡中保護者代表	荒 生 真央里
東部中保護者代表	田中井 祐 一
山形県部活動改革アドバイザー	石 塚 大 輔

【事務局】教育長、教育次長、企画管理課長、学校教育課長、社会教育課長、
スポーツ振興課長、学校教育課職員

4 委嘱状交付

＜教育長より委員代表に委嘱状を交付＞

5 協議内容

○開会（教育次長）

委員全員出席。本協議会設置要綱第6条2項の定足数を満たしているため、開会

○教育長あいさつ

・少子化により単独での部活動維持が困難な状況、また教員の働き方改革といった側面から、令和4年度以降部活動改革に取り組んできた。子どもたちにとって望ましい部活動のさらなる充実のためにも、多様な視点からご意見をいただき進めていきたい。

○委員紹介 別添委員名簿参照

○協議会会長の選出・副会長の指名

立候補者がいないため、事務局案（会長：酒田市スポーツ協会 会長 齋藤 隆氏、副会長：酒田市芸術文化協会 会長 村上 幸太郎氏）を提案。全委員承認。

○会長及び副会長あいさつ

会 長：齋藤 隆委員（酒田市スポーツ協会会長）

全国的に取り組んでいるが、苦勞しているのが実態。こういった会ですばらしいアイディアいただくことで前に進めるのではないか。

副会長：村上 幸太郎委員（酒田市芸術文化協会会長）

自身は文化活動をどうサポートしていくか考えていく役割なのだと認識している。
部活動の地域移行はどうしても地域格差が生まれざるを得ない。創意工夫が必要。酒田らしい形を考えていきたい。

○報告

＜事務局より資料に沿って説明。質疑応答なし＞

○協議（ここから協議会設置要綱により、齋藤会長に議長をお願いする）

ワークショップ形式で実施。意見概要は以下のとおり

●指導者の確保

・コーチ登録の仕方、資格等について、酒田市として何か基準を設ける必要があるのではないか。

- ・専門性を生かした配置をお願いしたい。
- ・学校に限らず居住地での指導もできるのではないかな。
- ・やりたいと思っている人が他にもいるのではないだろうか。
→公募してみてもどうか。
- ・兼職、兼業届を出して、指導者としてがんばっている教員もいる。指導したいという思いも大切にしてもらいたい。
- ・公益大、産技短、アランマーレ等との活用、交流を地域展開に生かせないかな。
- ・高校生が中学生に教えるなど、スポ少や中学生、高校生とのつながりも必要ではないかな。
→教えることで子どもたちの主体性も育つ。
- ・指導者の不足（特に文化部）。指導者の確保が難しい。保護者として自分の子どもがいるからという理由で引き受けてくれる人はいるが、地域クラブとして継続して引き受けてくれる人はどれくらいいるのか。文化部だと酒田吹奏楽団などで、吹奏楽部の地域クラブの指導者になってもらえるのか。酒田吹奏楽団の中には協力してもらえる人もいると思う。
- ・吹奏楽・合唱は学校として（コンクールに）参加するのか？指導者のできる地域人材がいるのか？音楽教員なのか？
- ・顧問の意識や考え方には違いがあり、特に音楽科が吹奏楽や合唱の指導をすることに抵抗は少ないが、自分がやってこなかった競技などで専門的な指導ができないと顧問にとっては抵抗が大きくなることもある。地域に人材（指導者）がいればその人材を活用したい。
- ・地域の指導者は、競技団体等から派遣されるのか。

●活動場所

- ・吹奏楽部などは楽器の運搬などの問題がある。校舎利用時のセキュリティールールがきまっていない。屋外で活動する部でも今の熱中症対策などでクールダウンのために、エアコンのある部屋を使用することもある。
- ・地域クラブ・部活で練習場所の予約を取るときにどうしたらよいのか。野球の室内練習場などの予約方法もよくわからない。
- ・移動に関して、市から何か援助はありますか？
- ・学校の校舎・施設等を借用する際の約束事をどうするのか？
（カギ・セキュリティ・用具等の管理の仕方）
- ・練習会場は、可能であれば、（現在と）同じ（場所）がよいです。
- ・（クラブの日は）酒田市内なら自転車での移動を許可してほしい。
- ・合同で活動するとなると、活動場所が遠くなることもある。移動手段はどのようなのか。

- ・場所の確保はできるのか。
- ・楽器の保管場所、特に大型の楽器の保管場所の確保が難しい。また、吹奏楽は大きな音が出るので、近隣への影響が出ないような場所を選ぶのは難しい。学校で活動するしかないか。
- ・バス通学生の活動場所までの移動手段は確保されるか。

●スポーツ・文化芸術環境・組織・地域クラブのあり方

- ・平日は吹奏楽部、土日はスポーツと、経験する場・機会が増えたことはよい。
- ・生涯スポーツとして → 子どもの可能性を伸ばす。
ア 子どもたちに体験する場を確保したい。

イ 種目の選択がしやすくなった。

ウ 生涯学習か？ 勝負重視か？

エ 部活をしていない生徒への対応はどうなるのか。

- ・一中のクラブ（希望ヶ丘）に一中生のみが参加できると聞いた。それ以外の学校の生徒は入れないのか。地域クラブは中学校区ごとのほうがよいのか、それとも競技ごとのほうがよいのか。
- ・二三六のクラブは全ての学校が一緒になって1つということか。いつから一緒になりますか？学校ごとで活動することもできる？
- ・大会は学校ごとに参加している。クラブで参加にならないか。少子化が進む中でこれからのクラブはもっと集まっていかないとダメではないか。酒田市内で3つくらいとか、もっとクラブ同士の合併も必要ではないか。
- ・各競技団体・民間クラブとの連携の必要性
- ・勝ちにこだわるクラブが多いと感じるが、楽しみたいと思っている子どもの受け皿となるクラブが少ない。
- ・強いクラブには入りたくないために、部活動にのみ入っている子もいる。
- ・子ども、保護者の意識の差が大きい。
- ・スポーツ少年団も、体力差や上手、下手の差が大きい。
- ・種目によって、中体連とクラブの大会のどちらか片方にしか登録（出場）できないものもある。（サッカー・バスケはどちらかを脱退し片方にだけ登録しなければならない）
- ・地域展開の形が地域や競技種目によってバラバラになると思う。地域のどの団体が実質的に音頭取り運営していくのか
- ・総合型では受け皿にならない。保護者会で進めるべきではないか。
- ・生徒数減少となり、市一体化を進めるべきでは？
- ・生徒の部活動加入率が下がっている現状（クラブに入会して土日活動する生徒も減少）生徒のニーズも多様化しており、クラブが持続可能か？

- ・地域の受け皿となるうる組織が責任能力を求められるのか？
- ・クラブのトップとなる組織はどうなるのか。その傘下に入るクラブでも、勝つためのクラブと楽しく活動するクラブと、入る目的の違いによってクラブが分かれていく。
- ・クラブを運営する事務局はどこが担うのか。

●費用・受益者負担

- ・謝礼については、受益者負担、市の負担も関わってくるので検討が必要である。
- ・謝金や送迎、保護者負担が増える。
- ・クラブ会費はどうなるのか、送迎はどうするのかなどの保護者の負担が増えるのではないか。指導者の謝金は誰がどのように支払うのか。
- ・現在は、保険代のみ集金している。
- ・指導者報酬を受け取らない指導者がたくさんいる。
(酒田市のスポーツは、補助を受けながら長く体育振興会がけん引してきたため、「酒田は無償でスポーツできる」という考え方があり、昼食代くらいしか徴収していない。)
- ・保護者は部活動とクラブの会費を二重で支払っている。負担が大きい。
- ・特別講師を招聘しての講習会を開催した場合、費用は高額になる。保護者が負担することになるのか。
- ・会費を支払って地域クラブに加入するメリットがない。
- ・保護者負担・受益者負担となって、今以上に指導への要望・要求が強くなっていく。その上で指導者となる方がいるのか？

●人間関係・トラブル

- ・「強いクラブ」に入っている生徒と「強くはないクラブや部活動」に入っている生徒との間で、人間関係がぎくしゃくしたりいじめが起きたりしている。誰がそれに対応するのか、学校がそれにかかわってくれるのか。
- ・怪我への対応はどうなるのか。

●生徒のニーズの多様性

- ・生徒のニーズの多様性を考えてあげたい。本当に生徒が望んでいることは何なのか。本当に地域展開することを望んでいるのか。土日でもその競技をしたいのか。平日と土日で違うことをしたいなどはないのか。部活動にある競技や種目だけをしたいのか、それ以外の種目でしたいものはないのか。

●大会参加

- ・土日の活動（練習）と大会参加について。学校対抗、学校としての参加か？クラブとしての参加か？協会・連盟でも違う
- ・平日⇒学校部活動。土日⇒地域クラブ

●その他

- ・スポーツ都市宣言 → 酒田市全体として方向性を示す。
 - ア 部活動後援会を生かしていく。
 - イ 子どもたちの声をひろっていく。
 - ウ 地域から何を支援してもらいたいのか整理する。
 - エ 教員とクラブ指導員の連携を図っていく必要がある。
 - オ 生徒の移動手段については検討が必要である。大変な家庭も多い。
- ・当面の間平日の部活は学校で行われるみたいだが、後に完全に地域展開するのか。当面というのはいつごろまでか。六中ではバスケ、サッカー、野球など部活でなくクラブに入って部活がなくなりそう。部活がなくなるので、クラブに入った方がよいという認識の保護者もいる。スケジュール、練習試合などの調整は誰がするのか。いつからどうなるのかがよくわからない。
- ・教員も大別すると2つになる。部活をやりたい。部活が負担で大変。それぞれの思いを大切にすることが働きがいになるのでは？
- ・まとまったら子どもたちも親も顔合わせしたいです
- ・保護者の理解を得るためには、さらに何をすべきか。
- ・現場（指導者・子ども・保護者）の意見は？
- ・説明不足ではないか。内容がよくわからない。

○山形県部活動改革アドバイザーより総括

- ・部活動移行に関し、周知しきれていない部分もあるのではないかな。ホームページだけでなく、様々な媒体で発信し、伝え方（動画にする等）の工夫があっても良い。
- ・指導者不足に関し、どういった指導者を求めているのか人物像や資質を示して募集すると、参加しやすくなるのではないかな。
- ・会費に関し、文部科学大臣が今夏ころに、各家庭が支払う負担の目安について示すと発言があった。全国的な平均値が見えてくると思うので、注視いただきたい

○閉会（教育次長）

- ・今回いただいた意見を参考に、子ども達が持続可能な文化経験やスポーツができる環境をどう作っていくか、皆さんとの対話を大切にしながら真剣に考えていきたい。